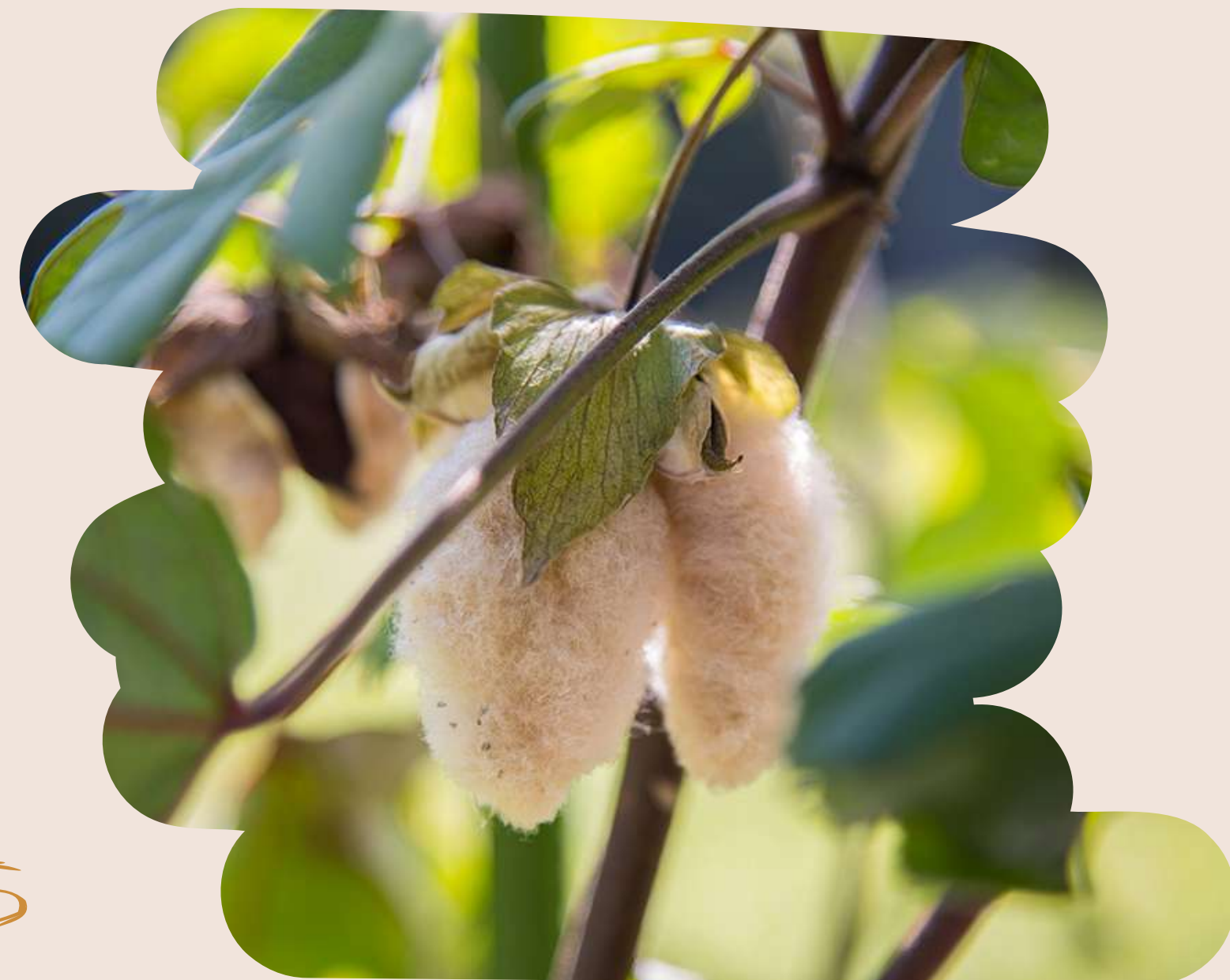


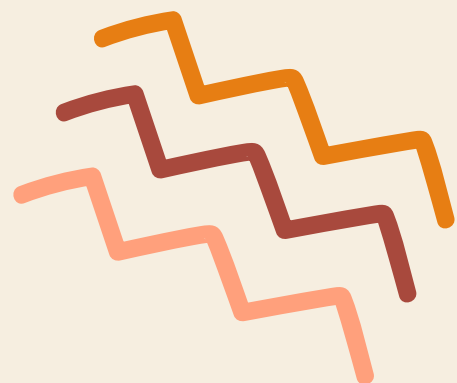
オーガニックコットンで創る

福島のみらい

GOALS ～3校協働SDGsチャレンジ～



GOALs について



01. GOALsの由来

- G**LOBAL…世界に視野を
- O**BJECTIVE…国際目標の達成
- A**CTION…主体的な活動
- L**EADERSHIP…10代が主役
- S**USTAINABLE…無限の可能性

02. メンバー

晃華学園中高（東京）	5名
東京立正中高（東京）	6名
麗澤中高（千葉）	5名
各校教員	3名
サポーター（社会人）	3名
（公財）五井平和財団	2名

合計 24名

03. GOALsの特徴

① 「私たちだからこそできる」アイデアを提案！

首都圏の学校のメンバーだからこそ気づく、外側からの視点で、福島未来について考えることができる。

② 様々な立場の人たちの視点から議論！

3校に加えて、社会人やNGO、そして震災直後から福島でオーガニックコットンプロジェクトに携わっている酒井 悠太さんが協力している。

（それでも立場を関係なく、楽しく！さまざまな視点から議論することができる）

活動概要・目的

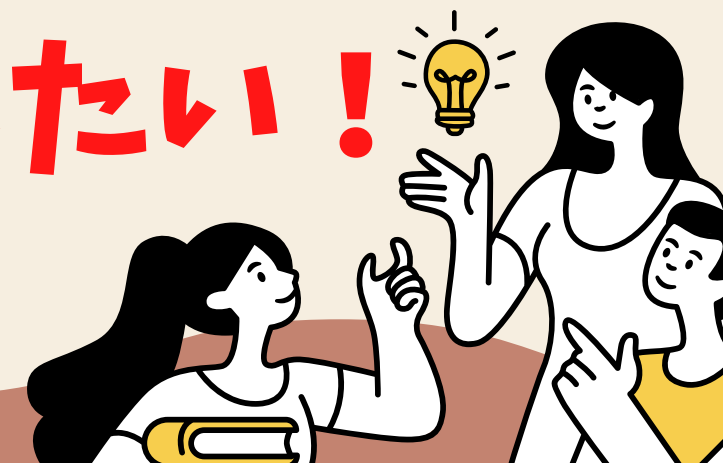
昨年度より首都圏の中高3校の連携プログラムとして
「GOALS ～3校協働SDGsチャレンジ」を開始

東日本大震災を
「教科書の出来事」
にしない！

2022年度は 「福島から考える持続可能な未来」 がテーマ！

酒井 悠太さんの協力を得て、校内外のイベントで、
オーガニックコットンを通して福島の「いま」を伝える活動

オーガニックコットンの可能性を広げて、
福島の持続可能な環境や未来に貢献したい！



オーガニックコットンから見える福島のミライ

放射性物質の移行係数が低いコットンを、
オーガニックで育てることにより、
福島ならではの環境に配慮した産業を育てることができる！

さかい ゆうた
酒井悠太さん
(株式会社 起点 代表取締役)

SIOME

生産者と消費者が交わる潮目をつくる

SIOMEは、福島で有機栽培した在来種の茶綿を原材料とし、「循環と機能」をコンセプトとしたKITENのオリジナルコットンブランドです。



5月～9月までの活動

まず、知ること。

対面とオンラインのハイブリッドで毎月会議を重ねてオーガニックコットンや福島について探究をしていきました！

リアルな声を聴く。

酒井悠太さんに東京にお越しいただき、震災直後のことや、福島の現状、オーガニックコットンの魅力を知りました。

私たちだからできることを考える。

首都圏の生徒だからこそ気づける視点やアイデアをたくさん出して私たちのアクションを考えました！

たくさん議論して、悩んで考えた私たちの結論…それは、**福島とオーガニックコットンについての展示や販売活動を通じて、福島のいまを伝え、福島に対する誤解やイメージを変えていきたい！**

文化祭で行ったこと (同世代に向けた発信)



各校の文化祭で展示、販売を行いました！

パネル展示

- ・福島とオーガニックコットンの魅力を発信！

文化祭で分かったこと

- ・もっと自分の言葉で伝えたい！
- ・高くても、商品の価値を知れば買う人が多い。

- ・ハンドタオル、手ぬぐいを販売
- ・学校オリジナルのデザインを手ぬぐいにプリントして販売。

今後活かす改善点

- ・オーガニックコットンの魅力をわかりやすく伝える！
- ・福島についてさらに知りたくなるような工夫をする！

私たちのACTION

福島県いわき市
10月9日 フィールドワーク



いわき市に、GOALsの24名で行きました！

酒井さんの全面協力のもと、コットンが栽培されている畑で実際に綿花を収穫。海岸にも行き、震災から11年たった「今」を肌で感じる事ができました。現地でインタビューも行い、福島で学んだ成果を動画にまとめ、発信します！

千葉県柏市
11月13日 イベント出展



3校協働でイベントに出展します！

文化祭での改善点を活かしながら、福島の今やオーガニックコットンの魅力をわかりやすく伝えます。また、自分たちで作成したPR動画の放映や、SNSでの発信など、10代の目線から工夫をこらした展示と販売を行います！

オーガニックコットンの可能性と魅力を広く発信

× 福島県内と県外の意識のギャップを埋める

= 福島の未来を共に創造する

